

社協だより 御野

第49号
[R3年度後期]

発行 御野地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 大和田黎子
発行月 令和四年三月

「支え合いのまち御野」の

実現に向けて



御野地区社会福祉協議会長 大和田 黎子

コロナ禍で、皆様、いかが、お過ごしでしょうか。新型コロナウイルスが、世界中に蔓延り返しながら、感染拡大を続けています。そのため、外出時には体温測定、マスク着用、室内出入り時の消毒、人との間隔を取るなど、感染対策に余計な神経を使う、不自由な生活を余儀なくされています。また、今年より感染拡大を始めた変異株のオミクロンは感染力が強く、保育園、小学校など子どもの世界に広がって、

株のオミクロンは感染力が強く、保育園、小学校など子どもの世界に広がって、
「支え合いのまち御野」のカラー刷りパンフレットを学区内各戸に配布しましたので、皆様のお目に留まっています。今後はその計画に沿って、どのように実施していくかを話し合う

今年度の動き

あつて、この二年間は、各町内会でのふれあい行事はもとより、御野地区社会福祉協議会(以下「社協」という)のふれあい事業も中止、又は縮小して実施しているところですが、

昨年三月(令和二年)度末に御野学区第一地域福祉活動計画「支え合いのまち御野」のカラー刷りパンフレットを学区内各戸に配布しましたので、皆様のお目に留まっています。

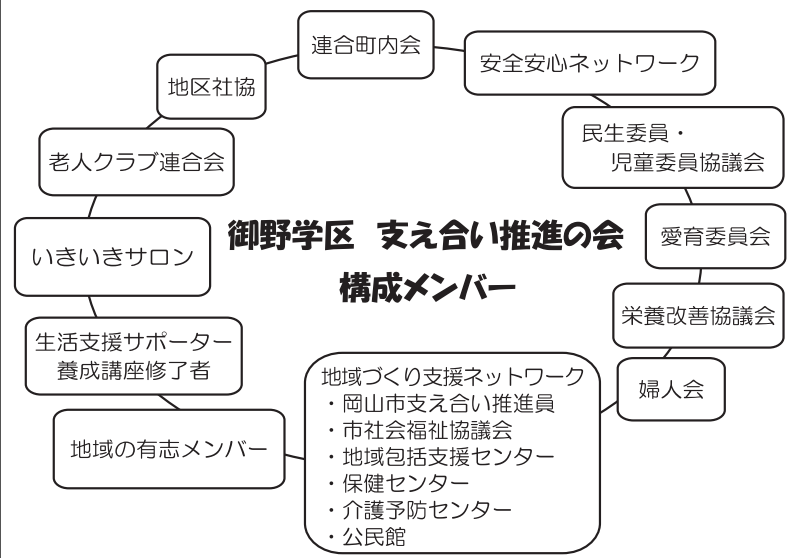
予定ですが、今年度もコロナのために会議が実施出来ず、令和四年一月になって、やっと、御野学区連合町内会(以下「連町」という)と社協の各代表者と地域づくり支援ネットワークの担当職員が集まって、御野学区支え合い推進の会の規約や役員など組織作りを話し合いました。

御野学区支え合い推進の会とは、...?

連合町内会、地区社協、民生委員児童委員、座談会参加者や生活支援サポーター養成講座修了生に声をかけ、平成31年1月31日に発足しました。少子高齢化が深刻化する中で、住み慣れた御野学区でいつまでも楽しく元気に暮らすために必要なことを話し合ったり、「こんな活動あったらいいね!」という意見交換をしながら自分たちができることを検討しています。

拡大を続けています。そのため、外出時には体温測定、マスク着用、室内出入り時の消毒、人との間隔を取るなど、感染対策に余計な神経を使う、不自由な生活を余儀なくされています。また、今年より感染拡大を始めた変異株のオミクロンは感染力が強く、保育園、小学校など子どもの世界に広がって、

＜御野学区 支え合い推進の会 イメージ＞



「支え合いのまち御野」の計画は、防災にもつながる、近隣同士の見守りなどの支え合いが中心です。すでに支え合い活動が進んでいる町内会には経験による良きアドバイザーとなって、ご協力をよろしくお願ひします。社協でも、「支え合いのまち御野」が一日でも早く実現するように、全力で協力し上げてまいります。

支え合いのまち御野



子ども・子育て支援

- ・交流、通いの場、子育て相談への参加促進
- ・見守りパトロール強化



地域コミュニティへの支援

- ・みのサマーフェスタ
- ・公民館祭り
- ・大学生との交流
- ・旭川みの広場 など



防災に向けた取り組み・支援

町内会や地域の防災組織との連携

高齢者支援

～地域のつながりの強化～

- ・サロンの充実 (いきいき交流会)
- ・個別支援
見守り声かけ活動の推進 (安全安心カプセル等の活用)
お困りごとサポート



今後とも、御野地区が、希望に満ち、笑顔